

日立ダイアグノスティックツール HDM-9000 ユーザー様

日立 Astemo アフターマーケットジャパン株式会社

HDM-9000 ソフトのバージョンアップのご案内

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
診断ソフトをバージョンアップしましたので、下記の通りご案内申し上げます。

敬具

記

1. バージョンアップ内容

ソフト	バージョン	バージョンアップ内容概略	詳細情報 参照先
日産	7.05	対象車両の追加、作業サポート機能の追加を行いました。	5 ページ

2. バージョンアップ手順

2 ページ目からの手順をご参照のうえ、バージョンアップを行ってください。

3. リリース時期

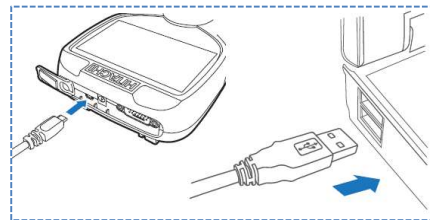
2023年9月13日 19時から、お手元の HDM-9000 のバージョンアップを行うことが可能です。

以上

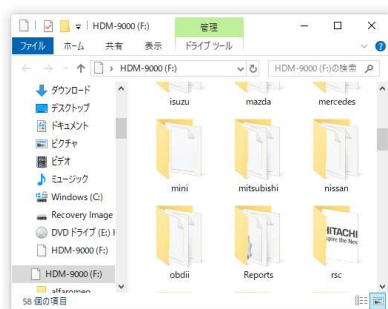
HDM-9000 ソフト・バージョンアップ手順 (Win.10 の場合)

本手順を実行いただくと、すべてのソフトが最新版にアップデートされます。個別の診断ソフトごとにこの手順を行う必要はありません。

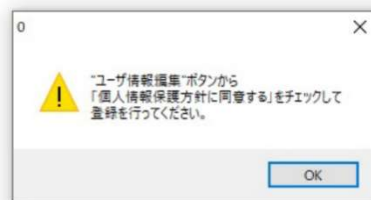
1. 本体キットに同梱の USB ケーブルを使用して、HDM-9000 本体とパソコンを接続してください。



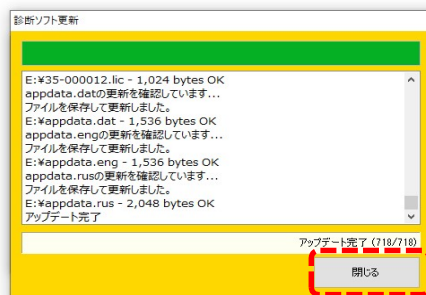
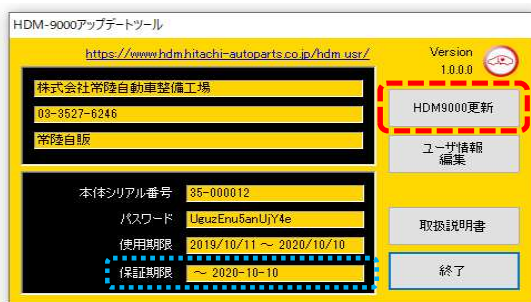
2. 自動再生により PC の画面に「HDM-9000」のフォルダーが表示されます。フォルダー内の「HDM-9000.exe」をクリックしてバージョンアップツールを起動してください。



- 自動再生が実行されない場合
⇒3 ページの操作方法を参照ください
- 左図のメッセージが表示された場合
⇒4 ページの操作方法を参照ください。



3. バージョンアップツールの「HDM-9000 更新」をクリックしてください。最新の診断ソフトがダウンロードされます。ダウンロードが完了したら、「診断ソフト更新画面」の下部にある「閉じる」をクリックしてください。



※「HDM-9000 更新」ボタンの色が反転している場合はダウンロード期限切れです。バージョンアップツールの使用期限（上図の青枠部分）の日付がダウンロード期限ですので、ご確認のうえ、カスタマーサポートセンターへ振込用紙の発行依頼を行ってください。

4. パソコンのタスクバーに表示されている USB のアイコンをクリックして「ハードウェアの安全な取り外し」を実行し、HDM-9000 をパソコンから取り外してください。

以上

自動再生が実行されない場合

パソコンによっては、ウイルスソフトが自動的に実行されるのを防止するため、USB メモリなどが接続された際の自動再生が設定されていない場合があります。

自動再生が実行されない場合は、以下の手順で HDM-9000 内部の「HDM-9000.exe」を起動してください。

【手順 1】

パソコンの画面下部に表示されているタスクバーにある「エクスプローラ」をクリックしてください。



【手順 2】

「エクスプローラ」が起動します。画面の左側にある「コンピューター」に「HDM-9000」が表示されている場合は、「HDM-9000」をクリックしてください。



【手順 3】

HDM-9000 フォルダ内のファイルが表示されます。「HDM-9000.exe」をクリックし、バージョンアップツールを起動してください。

HDM-9000 本体のパソコンからの取り外しについて

HDM-9000 本体をパソコンから取り外す際は、本体内のファイル破損を防止するため、以下手順を行ってください。

- ① パソコン上の HDM-9000 フォルダを閉じてください。
- ② パソコンのタスクトレイの取り外しアイコンをクリックしてください。
- ③ 「OBD II SCAN TOOL の取り外し」をクリックしてください。（「Device の取り出し」と表示される場合があります。）
- ④ 「ハードウェアの取り外し」が表示されてから、HDM-9000 本体をパソコンから取り外してください。

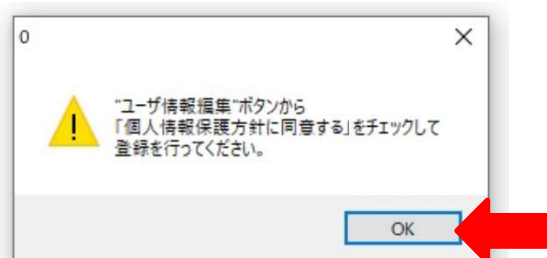
弊社の個人情報取扱方針の確認のお願い

2022年2月24日付で弊社の個人情報取扱方針（ユーザー登録情報の取扱いと利用目的の規約）を改定しましたので、弊社ではバージョンアップツールを通じて各ユーザー様にご案内しております。

個人情報取扱方針のご確認、ご同意をお願いするメッセージが表示されましたら、【手順1】～【手順3】の操作を行っていただきたく、何卒、よろしくお願い申し上げます。

【手順1】

左図のメッセージの「OK」（赤矢印の箇所）をクリックしてください。



【手順2】

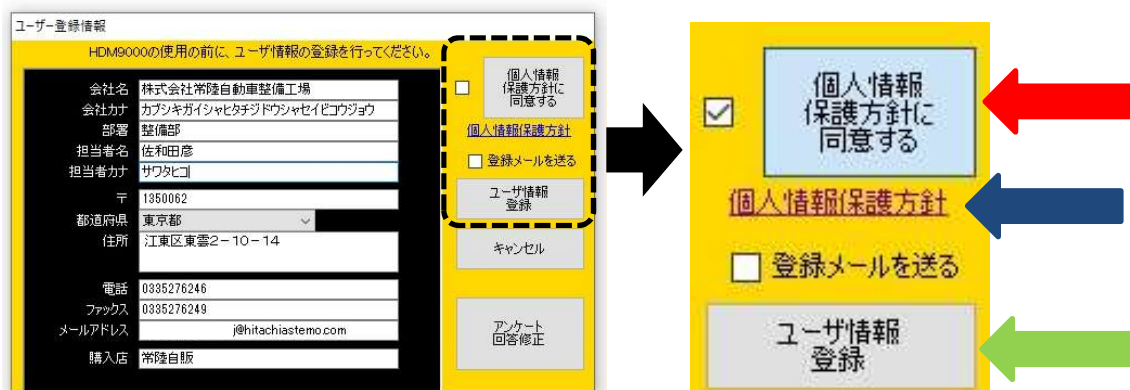
バージョンアップツールの「ユーザー情報編集」（赤矢印の箇所）をクリックしてください。



【手順3】

「ユーザー登録情報」が表示されます。下記①～④の手順で操作を行って下さい。

- ① 「個人情報保護方針」（下図の青矢印の箇所）をクリックして、文字の色を反転させてください。
- ② ブラウザ上に個人情報取扱方針のPDFが表示されます。内容をご確認ください。
- ③ 内容を確認後、「個人情報保護方針に同意する」のボタン（下図の赤矢印の箇所）をクリックし、左の空欄にチェックを入れてください。
- ④ 「ユーザー登録情報」のボタン（下図の緑の矢印の箇所）をクリックして操作が完了です。2ページ目の第3項の操作に進んでください。



以後、弊社が個人情報取扱方針の変更を行った場合を除き、【手順1】のメッセージは表示されません。

日立ダイアグノスティックツール HDM-9000 ユーザー様

日立 Astemo アフターマーケットジャパン株式会社

日産ソフト・バージョンアップのご案内 (Ver.7.05)

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
日産ソフトをバージョンアップしましたので、下記の通りご案内申し上げます。

敬具

記

1. EV/HEV、HV バッテリ、EV バッテリのデータモニタ追加

追加車両	EV/HEV	HV バッテリ	EV バッテリ	EV バッテリ 2
ノート e-POWER/AURA(E13)	○	○		
スカイライン・ハイブリッド	○	○		
フーガ・ハイブリッド	○	○		
エクストレイル・ハイブリッド				
リーフ (ZE1)	○		○	○
リーフ (ZE0)	○		○	
e-NV200	○		○	
KICKS (P15)		○		

2. 車両別の診断機能追加

車両	追加内容
サクラ (KE0) ※対象車両として新規追加	<ul style="list-style-type: none"> ●自己診断(読取、消去) ●HPCU システムのアクティブテスト「電子膨張弁初期化」 ●メンテナンスモード「EV バッテリ」 ●EV/HEV、EV バッテリ、EV バッテリ 2 のデータモニタ ●作業サポート機能の対応状況については次ページの「3. サクラ (KE0) に対応する作業サポート機能一覧」を参照ください。
ノート e-POWER/AURA(E13)	<ul style="list-style-type: none"> ●エンジンでデータモニタ追加 ●メンテナンスモード/HV バッテリの電圧セル確認 ●EV/HEV のアクティブテスト「整備モード要求」
エクストレイル・ハイブリッド	<ul style="list-style-type: none"> ●EV/HEV の作業サポート クラッチ 1 ゼロ点位置学習、G センサキャリブレーション ●EV/HEV のアクティブテスト 整備モード 1、整備モード 2、整備モード 3、整備モード 5、クランキング ウォータポンプ、可変電圧
スカイライン・ハイブリッド	<ul style="list-style-type: none"> ●EV/HEV のアクティブテスト 上記エクストレイル・ハイブリッドの対応機能とクラッチ 2 初期調整
現在の診断ソフト側で対象としている e-POWER 車/ハイブリッド車	HV 整備モード

次ページに続く

3. サクラ (KEO) に対応する作業サポート機能一覧

システム	作業サポート機能	
EV/HEV	<ul style="list-style-type: none"> ●クーリングファン積算作動時間クリア ●CPU交換時データ保存 ●CPU交換時データ書き込み ●バッテリー容量低下データクリア 	<ul style="list-style-type: none"> ●高電圧バッテリー/Bデータクリア ●特殊DTCクリア ●VIN登録
ABS	<ul style="list-style-type: none"> ●初期位置調整 ●前後Gセンサキャリブレーション 	<ul style="list-style-type: none"> ●舵角センサ調整 ●システムモード切替
VSP	<ul style="list-style-type: none"> ●VSP音量レベル変更 	
HVAC	<ul style="list-style-type: none"> ●アクチュエータ原点リセット 	
レーンカメラ	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラエーミング 	
LASER/RADAR	<ul style="list-style-type: none"> ●ミリ波レーダ光軸調整 	
AVM	<ul style="list-style-type: none"> ●カメラキャリブレーション(フロントカメラ) ●カメラキャリブレーション(助手席側サイドカメラ) ●カメラキャリブレーション(運転席側サイドカメラ) ●カメラキャリブレーション(リヤカメラ) ●トップビュー微調整 	<ul style="list-style-type: none"> ●トップビュー境目の強調表示 ●警告文言語切替 ●予想進路線表示 ●自動キャンセル要因(Entry) ●MOD機能
車間自動制御システム/ADAS	<ul style="list-style-type: none"> ●自動キャンセル要因1 ●自動キャンセル要因2 	<ul style="list-style-type: none"> ●自動キャンセル要因6 ●ステアリングトルクキャリブレーション
作業サポートメニューに表示	<ul style="list-style-type: none"> ●車体番号読取 	

以上